

## 令和7年度 自己評価シート【烏森住区センター児童館】

### 1、福祉サービスの基本方針と組織

#### 1－1 理念・基本方針

##### 1－1－(1)

理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。

##### 【判断基準】

- (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。
- (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。
- (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。

##### 【自己評価】

実践例（取組や記録等）

a)、 b)、 c)

児童館の基本理念及び基本方針は、利用者にわかりやすい文章で児童館のパンフレットや館内掲示にて周知している。パンフレットについては、児童館PRを兼ねて、乳幼児活動、ランドセル来館登録説明会、地域懇談会等で利用者や地域に向けて配布を行った。また、「子ども会議」の際に、『目黒区子ども条例』についての説明を行い、子どもたちから出た意見を児童館運営に反映させている。

##### 1－1－(2)

理念、基本方針の確立・周知について

##### 良いと思う点

事業計画を立案する際には、基本理念や方針を理解することに加え、昨年度の振り返りや児童館運営指針をもとに目標設定をし、内容決定をしている。

##### 改善が必要だと思う点

児童館の基本理念や方針は利用者にわかりやすく伝えるためにも、職員一人ひとりが理解し、再度事業目的を確認しながら児童館運営を実施していく。

### 2、児童館の活動に関する事項

#### 2－1 児童館の理念・目的及び施設特性

##### 2－1－(1)

児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。

##### 【判断基準】

- (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。
- (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。
- (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込でいない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	「児童館ガイドライン」及び「目黒区児童館運営指針」に基づき、自館で実施した事業の振り返りをもとに、重点課題を抽出もした上で、事業計画の策定を行っている。
2－1－（2）	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。 (b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	対象となる利用者の誰もが、安心して安全に児童館を利用することができるよう、部屋機能を生かしながら異年齢のつながりが持てるよう職員が関わっている。また、今年度は「目黒区児童館運営指針」が改定されているため、職員が共通認識を持てるように全職員が確認している。
2－1－（3）	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) － (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの人権に配慮した取り組みの一つとして、定期的に「子ども会議」を実施し、『目黒区子ども条例』に触れ、子どもたちの意見や発想が実現化するような話し合いや取り組みを行っている。また、安全に安心して遊んだり学んだりできる身近な居場所になるよう、どの子どもに対しても丁寧な対応を常に心掛けている。
2－1－（4）	
児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
日常活動では、各部屋機能を生かした遊びの中で、子ども同士、保護者同士、子どもと保護者と、仲間づくりの輪を広げていけるような運営を行っている。地域の中で、安全に安心して利用できる居場所の一つとなっている。	「目黒区児童館運営指針」や「児童館ガイドライン」「目黒区子ども条例」等を念頭におき、地域の中で居場所の一つとして、「児童館利用をしたい」と思える運営を継続していくよう努める。

## 2－2 遊びによる子どもの育成

### 2－2－（1）

子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。

**【判断基準】**

- (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。
- (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。
- (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。

**【自己評価】**

実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日常活動で見られる子どもの姿を、朝会、昼会、ブロック会議にて職員間で情報共有し、共通認識のもと、職員間で同じ対応ができるようにしている。また、利用者の気持ちに寄り添いながら、一人ひとりの成長や発達に合わせた丁寧な対応を職員全員が心掛けている。
--	---

2－2－(2)

子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。

**【判断基準】**

- (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。
- (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。
- (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。

**【自己評価】**

実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	遊戯室は、幼児から中高生までの幅広い年齢層の子どもたちが遊んでおり、子どもたちの主体性を大事にするためにも、安全に遊べるよう、必要に応じて遊び場所の棲み分けをしている。プレイルームでは、メンバーや人数に応じて子どもたちの話し合いをもって、遊び決めをしている。図工室では、子どもたちが自由な発想で材料を選択し工作ができるよう、環境整備に努めている。このように、各部屋機能を生かしながら、子どもたちが最大限その時にやりたいことに応えてあげられるようにしている。
--	--

2－2－(3)

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

**【判断基準】**

- (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。
- (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。
- (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。

**【自己評価】**

実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	限られたスペースの中で、幼児も含め小中高生が遊ぶにあたり、遊びの棲み分けを考えてもらったり、一つの遊びを共有したりするための話し合いをしたりする場面を意図的に作っている。異年齢の集団が過ごす場所で、皆が気持ちよく遊ぶ方法を考えてもらえるような話し合いを積み重ねられるようにしている。(日常活動での遊び決め／子ども会議での意見交換)
--	---

## 2－2－(4)

### 遊びによる子どもの育成について

良いと思う点	改善が必要と思う点
幼児も含めた異年齢の子どもたちが共に楽しめるよう、どの部屋でもどの子も遊ぶことができるような運営をしている。遊びの中で、上の子が下の子を気遣ったり、下の子が上の子に憧れたりしながら、さまざまな人がいる中で思いやりが育まれている様子が見られる。	職員が見守ったり助言をしたりしながら、集団で過ごすために譲り合いなどの経験を積む機会となっている。子どもたちの意見を聞いたり、助言したりするためのスキルも、職員各々が向上していけるよう努力していく。

## 2－3 児童館の安全管理

### 2－3－(1)

#### 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

##### 【判断基準】

- (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。
- (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。
- (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。

##### 【自己評価】

##### 実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	「災害時初期対応マニュアル」「危機管理・安全対策マニュアル」に基づき、さまざまな不測の事態を想定した防災・防犯訓練及び避難訓練を月に1回実施し、利用者の安全が守られるよう備えている。利用者と迅速に正確な情報や状況を共有するために、「安心でんじょばと」のシステムが利用できるよう、登録の促進にも努めている。また、複合施設により、施設管理事業者や老人施設利用者と連携した訓練を実施し、災害及び防犯対策についての確認をしている。
--	---

### 2－3－(2)

#### 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

##### 【判断基準】

- (a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。
- (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。
- (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。

##### 【自己評価】

##### 実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>鳥森児童館の運営に伴う安全対策については、鳥森児童館「危機管理・安全対策マニュアル」に準じてリスク回避できるよう、職員全員がマニュアルの対応確認を行っている。</p> <p>また、日々安全な部屋運営を目指した環境整備と毎月の施設点検を行い、必要に応じて修繕するために管理部署と連携している。</p>
--	--